

第1回 改正建築物省エネ法・建築基準法の円滑施行に関する連絡会議
議事要旨

1. 日 時 令和4年11月25日（金）11:00～11:45
2. 場 所 ベルサール半蔵門 2階 HALL A
3. 出席者 別紙1のとおり
4. 議 事 別紙2のとおり
5. 議事概要

○冒頭、豊田国土交通副大臣より挨拶。

○宿本国土交通省住宅局建築指導課長より資料1、2について説明。

○各団体からのコメント。団体からの主な発言は以下のとおり。

【日本建築行政会議 企画委員会（WEB出席）】

- ・審査人員の拡充など審査体制の充実の検討や、申請・審査側の技術力向上などのための説明会や講習会を丁寧に実施するなど、国からも積極的なバックアップをお願いしたい。
- ・円滑に改正法の施行を迎えられるよう、審査関係団体として国とも足並みをそろえて積極的に取り組んでいく。

【住宅性能評価・表示協会】

- ・現在の審査体制を大幅に拡充する必要があるため、必要な事項等については可及的速やかに具体的な方針を決定・開示されるように強く要望する。
- ・審査者側の体制整備が遅れ、改正法の円滑な施行・運用のボトルネックとなるような事態は避けなければならないと認識しているが、そのためには、潜在化している専門人材の活用や人的資源を大胆に動員するための創意工夫・新たな取り組みが必要と考えている。

【住宅生産団体連合会】

- ・今回の法改正は十分な準備がないと現場に混乱が生ずると考えており、以下3点要望する。
 - (1) 申請図書の簡素化・合理化や、電子申請に関する体制整備を進めてほしい。
 - (2) 審査体制の準備を十分に行っていただきたい。
 - (3) 講習会等、素早い情報発信をお願いしたい。
- ・カーボンニュートラルの推進、安全快適な住まいの実現、円滑な法施行の実現に全力で取り組んでいく。

【JBN・全国工務店協会】

- ・改正建築物省エネ法の円滑推進、カーボンニュートラル等の推進は重要な課題と考えており、目下取り組んでいるところである。
- ・建築確認や長期優良住宅等の申請等諸手続きについて、簡素化、電子化、デジタル化を進めていただきたい。

【日本建築士会連合会】

- ・改正建築物省エネ法の恩恵を受ける新築以外の世帯が特に重要だと考えるため、新築工事に加えリフォーム工事も強力な体制を組んでいただきたい。
- ・全国の都道府県建築士会に呼びかけ、省エネ、再エネニーズの掘り起こしに取り組まなければならないと考えており、建築関係諸団体が一致協力して、こうした取組ができるよう支援を賜りたい。

【建築設備技術者協会】

- ・省エネ、創エネ、蓄エネ、これらを総合的に実現するシステムとして、それらを設計、施工、運用する人材の育成が極めて重要だと考えている。
- ・改正法の円滑施行に、当協会が力量を発揮して寄与できる場所は大きいと思っており、本日お集りの建設関連団体のみならずとの連携・支援をお願いしたい。

【日本設備設計事務所協会連合会（WEB 出席）】

- ・建築物省エネ法の制定当時から、構成員の事務所全体で関係業務に取り組んできた。
- ・建築物省エネアシストセンターを運営しており、省エネ計算に不慣れな事業者の相談窓口を実施している。
- ・省エネ計算が行える設備設計事務所の情報提供を充実させ、今後の省エネ基準引き上げや住宅の適合義務化等に対応したいと考えている。

【日本建設業連合会】

- ・建築物の省エネ、カーボンニュートラルは喫緊の課題であり、重要なテーマとして取り組んでいる。そのため、具体的な規制の内容はできるだけ早く示していただきたい。
- ・規制をクリアするために何らかの支援が必要な場合も考えられる。そうした点もあわせて、推進するためのルールを検討していただきたい。

【断熱建材協議会】

- ・改正建築物省エネ法の円滑な施行のため、省エネ基準の仕様基準に合致する断熱材、開口部材の製品リストを公開している。
- ・住宅について無料の断熱施工講習会も行っており、本日お集まりのみならずにもこのような施策をご利用していただけるよう働きかけたい。

【住宅金融支援機構】

- ・今回の法改正により既存住宅対策の省エネルギーフォームを対象とする融資制度を創設した。
- ・今年6月の建築物省エネ法公布を踏まえ、基準が義務化される令和7年より2年前倒しをして来年4月よりフラット35の新築住宅については要件化する。
- ・省エネの推進と地球環境の保全という政府方針に基づきしっかりと役目を果たしていく。

【不動産流通経営協会】

- ・既存住宅で省エネ性能が劣っているものも、新築物件に遅れを取らない省エネ性能アップの議論を深めていただきたい。
- ・既存住宅の所有者に対して多方面にわたる支援をお願いしたい。
- ・この取組が地球環境の向上に貢献できるよう、FRK としても力を尽くしてまいりたい。

○宿本国土交通省住宅局建築指導課長より閉会の挨拶

以上